

## TARC ロールコール実施要領 (20220830 改訂版)

横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部

2022年8月

### I. オンエアミーティングを目的別に分け、ロールコールを新設する。

1. ロールコールは全クラブ員が「各自の運用リグの動作確認を行う」こと、および「非常時の通信の訓練を行う」ことを目的とし、全メンバーの参加を奨励する。
2. ロールコールでは非常通信時に使う「キー局によるチャンネルコントロール方式」(下記 III 参照)で行う。また、全メンバー対象のクラブ運営に関する情報伝達を行うことを可とする。  
(役員間連絡など個別の事案は適時、yakuin-tarcml メールや個別の無線・有線連絡にて行う。)
3. 従来のオンエアミーティングの時間(毎土曜日午後 9 時から)はクラブメンバー間の自由な交信、ラグチューの時間とし、従来設けていたキー局や交信ルールなどは設けない。

### II. ロールコールの実施日時と周波数(毎月 1 回、第 1 日曜日の午前 10 時に開始)

担当キー局：輪番制(詳細は V 項による)

ただし、予定のキー局が不測の事態により、ロールコールを開始できないときは、当日ロールコールに参加するために待機している局間で相談し、有志局が代行する。

使用周波数：通常 438.48MHz とし、既占有局がある場合は 145.48MHz、ただし、この周波数を使う JARL、同神奈川県支部主催のコンテスト中はサブ周波数を 145.70MHz とする。なお、状況によってキー局の判断で使用周波数を±20kHz、又は±40kHz に変更することもある。145.48MHz を使用する場合は+20kHz の 145.50MHz は非常通信周波数として既に割り当てられているのでロールコールには使用しない。

### III. ロールコールの交信手順

(キー局によるチェックイン局募集)

- ・ チェックイン局の募集を行う
- ・ ピックアップした局名をアナウンスし、次のチェックインを募集
- ・ これを繰り返す

(チェックイン局の RS レポート・インフォメーション有無報告)

- ・ 新たなチェックインが無くなった時点で、キー局は本日のチェックイン局リストを紹介
- ・ キー局はリストの順にチェックイン局を呼び出す
- ・ 各チェックイン局は、キー局への RS レポートとインフォメーションの有無を伝達
- ・ キー局は、チェックイン局への RS レポートをその都度伝達し、リストの次の局を呼び出す

(インフォメーションの伝達)

- ・ キー局はリストの全局を呼び出した後にインフォメーション有りの局を順次呼び出す
- ・ チェックイン局は、インフォメーションを伝達

(レイト・チェックインの募集)

- ・ キー局はインフォメーション有り局が全て終わった時点で、レイト・チェックインを募集。

チェックイン局があれば上記手順を繰り返す。

**(ロールコールの終了)**

- ・ 以上が終了したら、キー局は**ロールコール終了する旨を伝達**し、リスト順にチェックイン局を呼び出す
- ・ 各チェックイン局は、それぞれ**終了の了解**を伝達する
- ・ 全チェックイン局の終了了解の伝達が終わった時点で、キー局がロールコールの終了を宣言する

**IV. キー局との交信が困難なチェックイン希望局へのサポート (手順と留意事項)**

発災時には多くの局がハンディ機を使わざるを得ない状況になることが想定されるので、本項目はロールコールにおいても実施すべき大切な訓練と考えられる。通常のアマチュア無線の交信ではほとんど経験できないものなので、クラブ員各局には、このような状況でもロールコールへの積極的な参加を推奨する。

1. チェックイン希望局においてキー局の電波は受信出来ているが、チェックインコールを受け取ってもらえない場合
  - ① この状況を認知した他局は、キー局にチェックイン希望局の局名を伝達する。(以降、伝達した局を伝言局と言う)
  - ② キー局は伝言局名と希望局名をセットでチェックイン登録する。  
以降、キー局は伝言局経由で希望局との交信を行う。この際、希望局と伝言局の通信にチャンネル(時間)を割り当てる必要があるが、これを確保するのはキー局の責務であることに留意する
2. キー局の電波は受信困難だが、チェックインしている近隣局の電波はワッチできている場合
  - ① チェックイン希望局は近隣局のコールサインを指定してブレイクインのコールでチェックインの伝言を依頼する。
  - ③ ブレイクインを受けた近隣局(以降;伝言局)はキー局にチェックイン希望局があることを伝える。
  - ④ キー局は伝言局名と希望局名をセットでチェックイン登録する。  
以降、キー局は伝言局経由で希望局との交信を行う。この際、希望局と伝言局の通信にチャンネル(時間)を割り当てる必要があるが、これを確保するのはキー局の責務であることに留意する。また、キー局の送信電力に余裕がある場合は、出力の増加、アンテナ指向性を調整するなど状況の改善努力が出来ないか考慮する。
3. ロールコールが行われているはずだが、キー局やチェックイン局の通信信号が受信できない場合
  - ① 訓練日時と訓練時間になっているか確認する。

- ②周波数を確認する。チャンネルに占有者がいる場合や JARL コンテストなどの実施中の場合は代替チャンネルでロールコールを行っている場合があるので、代替チャンネルを受信してみる。（上記 II. 使用周波数の項を参照）
- ③他のチャンネルでの交信をワッチするなどの方法で、自身のトランシーバーの動作確認を行う。

## V. キー局の輪番制

1. 年度毎にクラブ員全員から希望者を募り、この希望者と役員会メンバーを以ってキー局担当局とし年度の担当日のリストを作成する。年度内に新規の希望者や辞退者があった場合は年度内でも随時役員会で修正し、適用する。
2. 役員会の依頼あるいは指名によりクラブ員をキー局担当者リストに加えることができる。
3. 個別の事情（例えば、時間的な制約、無線設備の限界）により、キー局を担当が困難になった場合は役員会に申し出ることでキー局担当を免除される。

## VI. 参加の奨励

- (ア) キー局はロールコール終了後、参加した局のコールサインのリストを、TARC メールングリストにて、クラブ員に配信する。
- (イ) さらに、次回のロールコールの日時と担当のキー局を付記する。
- (ウ) 新たに設けるロールコール取り纏め役は、年間を通した参加者の記録をまとめ、次回の総会で発表する。

以上

## 改訂記録

1. 2018/12/24 新規作成 2019年1月より実施
2. 2019/09/27 改訂 キー局の輪番制、実施結果のクラブ員への配信 等の追加  
2019年10月より実施
3. 2020/06/20 改訂 タイトル名の変更
4. 2021/04/28 改訂 キー局の輪番制を改訂、キー局との交信不可局へのサポート追加等、  
2021年6月より実施。
5. 2022/05/28 改訂 統制周波数の変更、表彰制度の廃止、実施日の変更、  
2022年6月より実施
6. 2022/08/30 改訂 統制周波数（運用予定周波数）の変更、  
2022年9月より実施